

鏡齒科新聞



唾液でわかる!虫歯のリスク

緩衝能とは?

むし歯菌は私たちが食事をする度に歯を溶かす酸を出します。

その一方で私たちの唾液には作られた酸の力を弱める緩衝能という力があります。

この緩衝能という力によって私たちの歯をむし歯の発生から守っています。

緩衝能は個人差や年齢差があります!

緩衝能の強弱がむし歯発生や口臭に関与します。

唾液緩衝能を調べることは、むし歯発生の可能性を予測する上での重要な参考情報となり、むし歯にさせないための予防処置を想定することができます。

仮にむし歯にかかっても、治療期間中や治療後において再発防止策を練ることができます。

※緩衝能は生活習慣・食生活の影響を受けますので、改善することで能力を上げることができます



当医院でも、唾液による虫歯のリスクの検査を行っています。ご興味のある方はご相談ください。

(1回¥500)

子どもに虫歯をうつしやすい行為



暑い夏がやって来る気配を感じつつ、すでに日焼けで真っ黒になりつつある私ですが、今年も夏バテしないように、適度に体をいたわりながら過ごしやすい季節が来るのを待とうと考え中です。皆さんの暑い夏のしのぎ方はどんなことでしょうか? お勧めがあればぜひ教えてください。

先日(6月4日)の『第二回鏡齒科医院歯の健康祭り』には、沢山の方にお越しいただきありがとうございました。楽しんでいただけただけでしょうか?

今回、起こし頂けていない方も、またの機会に是非、足をお運び頂けると幸いです。皆さんに楽しんでいただける企画を考えてお待ちしております。

生まれたばかりの赤ちゃんのお口には、虫歯菌はいません。

では、なぜ子供は虫歯になってしまうのでしょうか?

それは、虫歯菌がお母さんなどの身近な大人からうつってしまうから(母子感染)。そのため、

大切なのはまずは虫歯にならないこと。

子供の頃から予防意識をしっかり持つことが、一生のお口の健康につながるのです。

虫歯菌は、赤ちゃんのそばにいるお母さんやお父さんなど、身近な大人からうつります。

そのしくみは、コップやおはしなどの食器の共有や、大人が噛んだものを与えたり愛情表現のキスをしたりすること。

つまり母子感染を避けるには、食器を共有しないよう注意するほか、大人のお口から虫歯菌を減らしておくことが大切です。

大人の方は、ご自身のためはもちろん大切なお子さんのために、虫歯があったら

きちんと歯科治療を受け、日頃からメンテナンスに努めましょう